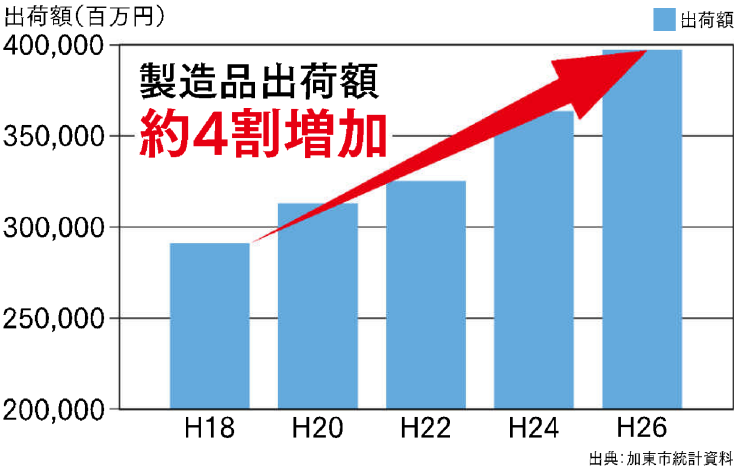


河川整備により見込まれる効果

河川整備により浸水リスクを低減することで、住民の安全安心の確保、安定した操業による地域の生産性向上、産業・経済発展を促進

北播磨地域の産業を支える加東市
製造品出荷額 北播磨地域第一位！

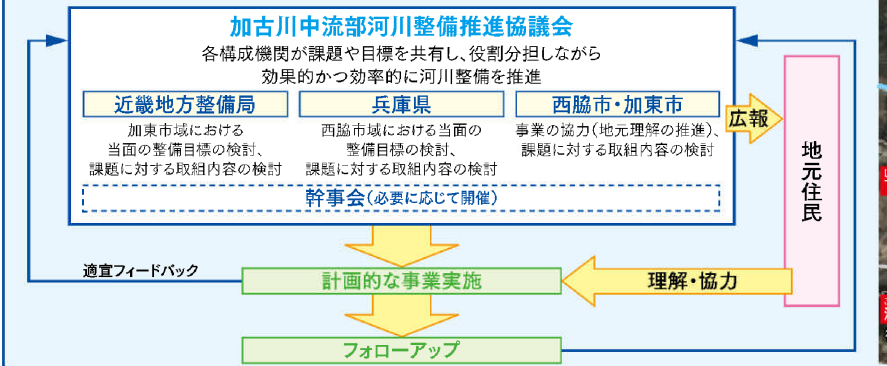
工業関係出荷額の推移



加古川中流部河川整備推進協議会

国管理区間(加東市)と兵庫県管理区間(西脇市)に跨る加古川中流部の河川整備にあたっては、平成28年8月30日に設置した「加古川中流部河川整備推進協議会」により、国・県・市の連携・協力体制を構築し、上下流のバランスの調整を図りながら、効果的かつ効率的な河川整備の推進を図ることとしています。

- 設置目的** 加古川中流部(加東市・西脇市域)区間の河川整備について、河川管理者(近畿地方整備局、兵庫県)および関係市(西脇市、加東市)を構成員として、河川整備の課題を情報共有し、当面の河川整備の目標及び実現に向けた役割を明確にした上で、連携・調整を図りながら効果的かつ効率的な河川整備を推進することを目的とする。
- 実施事項** 1. 加古川中流部区間の河川整備状況、災害リスク等の課題を共有した上で、当面の整備目標を明確にする。
2. 効果的かつ効率的な河川整備を推進するために必要な役割分担を協議し、進め方・連携方策等の調整を図る。
3. 河川整備に対して、関係住民に理解と協力を求めるための広報を行う。
4. 毎年、協議会を開催するなどして、事業の進捗状況を確認する。
- 構成員** 近畿地方整備局、兵庫県、西脇市、加東市
(近畿地方整備局河川部長、姫路河川国道事務所長、兵庫県土木整備部長、加東土木事務所長、西脇市長、加東市長)



加古川中流部緊急治水対策

～重点的な整備による浸水被害の早期軽減～



平成16年台風23号 加古川 関電灘 付近(浸水後の状況)

度重なる浸水被害に対して、重点的な治水対策を実施

度重なる浸水被害に対して、平成29年度から、加古川中流部の加東市滝野地区を緊急対策特定区間※に設定し、重点的に築堤や河道掘削を実施します。
この対策により、当該地区の浸水被害の早期軽減を図るとともに、浸水常襲地域のまちづくりなど地域の活性化を支援します。

※「緊急対策特定区間」は、改修効果が極めて高い区間について、重点投資を行うことにより、早期に事業効果を発揮させることを目的として設定。

加古川中流部 緊急治水対策 整備内容

加古川水系河川整備計画に位置付けられている加東市滝野地区（河高・下滝野・上滝野地区）を緊急対策特定区間※に設定し、今後概ね10年間で、平成16年洪水（台風第23号）と同規模の洪水に対する浸水被害の早期軽減を図ります。
このうち、特に近年浸水頻度が高い河高・下滝野地区については、今後概ね5年間で早期の浸水被害軽減を図るとともに、滝野地区全体の用地取得を完了します。



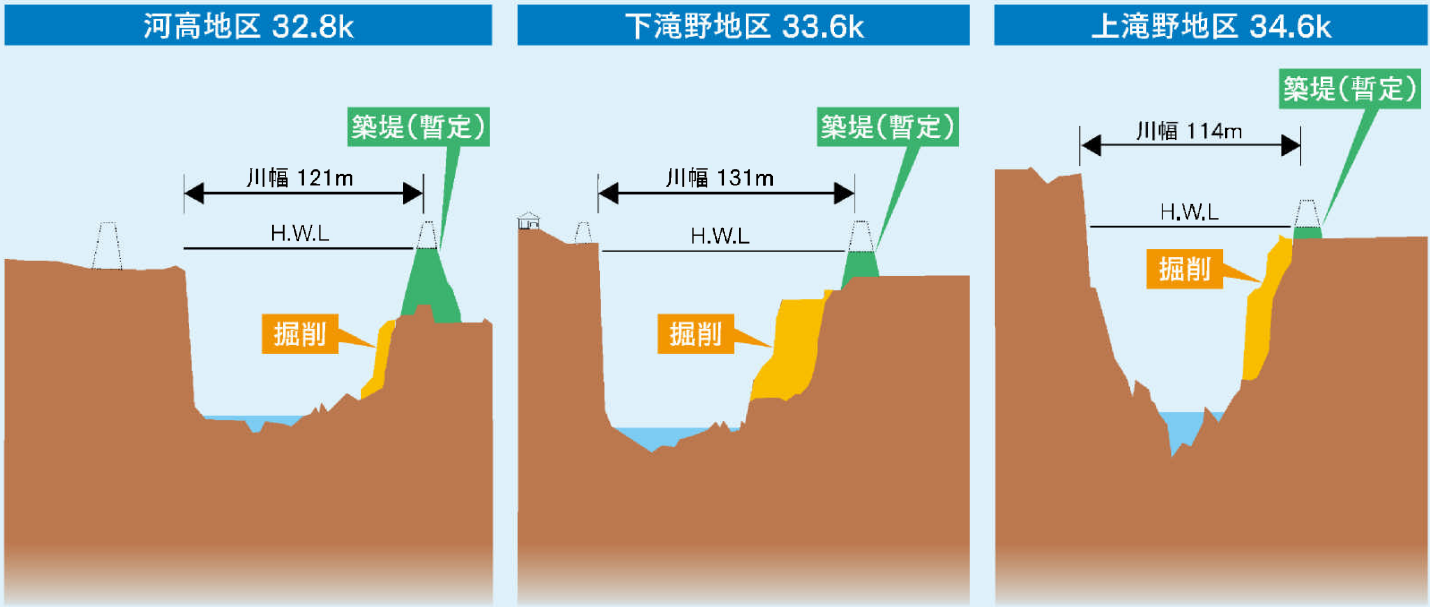
■整備区間
中国自動車道加古川橋梁（兵庫県加東市河高地先）から
閼竜灘付近（兵庫県加東市上滝野地先）まで

■事業期間
平成29年度から概ね10年間

■実施内容

- ・築堤／約2.7km
- ・河道掘削／約9万m³
- ・橋梁改築／1橋 等

■イメージ図



加古川中流部沿川で発生した度重なる浸水被害

平成16年10月20日に上陸した台風23号は、加古川流域で流域平均雨量225mm（国包上流域）の降雨をもたらし、西脇市域・加東市域では浸水面積534ha、浸水家屋618戸に及ぶ甚大な被害が発生しました。その後、平成16年～22年に実施した緊急的な治水対策後も平成23年、25年、26年と続けて浸水被害が発生しました。



平成16年	加東市域	西脇市域
死傷者(人)	0	1
浸水面積(ha)	110	424
建物被害 床上浸水(戸)	69	126
建物被害 床下浸水(戸)	106	317

平成23年	加東市域	西脇市域
死傷者(人)	0	0
浸水面積(ha)	9	不明
建物被害 床上浸水(戸)	3	20
建物被害 床下浸水(戸)	2	113

平成25年	加東市域	西脇市域
死傷者(人)	0	0
浸水面積(ha)	10	不明
建物被害 床上浸水(戸)	3	5
建物被害 床下浸水(戸)	2	31

平成26年	加東市域	西脇市域
死傷者(人)	0	0
浸水面積(ha)	0	不明
建物被害 床上浸水(戸)	0	0
建物被害 床下浸水(戸)	0	2

